

顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会

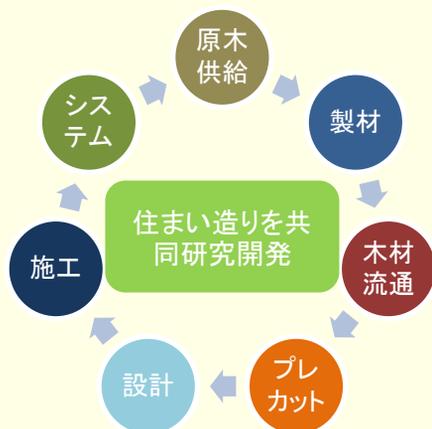
<http://www.kuga.co.jp/kizuna/>

令和2年度 国土交通省 【地域型住宅グリーン化事業】グループエントリー案内



顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会とは職方(造り手)の顔が見える住まいを創造し、地域材をふんだんに使った木の家を提供する家造りの団体です。原木・製材・木材流通・設計・施工が協業一体となり、上質な住まいのご提供のため研究をかさねています。(平成24年度より国土交通省の地域型住宅ブランド化事業、グリーン化事業にて『木づな(絆)の家』が採択をうけました。)

木づなの会メンバー構成



木づなの会は木材利用のを通じ地球環境にやさしい住まい造りを推進します。

木づな（絆）の家

木づな（絆）の家は木の性質や性能をふまえた長寿命な木造住宅です。

国土交通省長期優良住宅基準（認定低炭素住宅、ゼロエネ）

+

木づな（絆）の家 仕様

- ・「耐震等級2以上」を取得
- ・断熱性能は「省エネ等級4」を取得
- ・施主様の出身地域の材を一部使用する事（施主様の意向により使用しないケースあり）
- ・地域材は主要構造部で60%以上使用する事
- ・WEBカメラを設置する事（お施主さまの意向により使用しないケースあり）
- ・住宅履歴管理（お引渡し後、無償・有償定期点検を実施）
- ・所管行政庁による長期優良住宅建築計画等計画の認定を受ける
- ・（ゼロエネの場合）HEMSの導入必須。BELS認証による評価必須。5、6地域の請負住宅。
外皮平均熱還流率(UA値)0.59W/m²・K以下、全体のエネルギー削減量(R)100%以上、太陽光を除くエネルギー削減(R0)率20%以上



長期優良住宅は、劣化対策、省エネルギー性などの住宅性能が高く、良質な住宅ですが、当然その分の建築コストは一般住宅より高くなる傾向があります。しかし、良質な住宅を普及させ将来世代に継承するために、様々な優遇措置がはかられています。

詳しいお問い合わせは